

会 告 韓国木簡学会との交流

二〇〇七年一月、韓国木簡学会が設立され（会長朱甫敬慶北大学教授）、一月一〇・一一日の二日間にわたり、「国際シンポジウム 韓国古代木簡と古代東アジア世界の文化交流」が開催された。私たちは、韓国木簡学会の時宜を得た設立を心からお慶び申し上げますとともに、さらなるご発展をお祈りしたいと思います。

日本の木簡学会としては、交流の第一歩にまず会誌『木簡研究』のバックナンバーセットを寄贈させていただいた。韓国木簡学会でも韓国国内の出土文字資料を整理、報告する学術誌『出土文字資料研究』（年二回刊行）を刊行する予定と聞く。会誌の交換を手始めに、今後人的な交流、そして研究交流を実現していきたいと思う。幸いにも、本年の第二九回研究集会において、朱甫敬会長長の招聘が実現し、尹善泰総務理事とともに参加される見通しとなっている。

木簡学会では、今後韓国木簡学会と積極的に交流を進め、東アジア木簡学を築き上げていきたいと考えてるので、会員のみならずのご理解とご協力、そして暖かいご支援をお願い申し上げます。ご挨拶